



# 地球環境との 共生をめざして

Planetary Health

2050年ネットゼロへの  
移行に向けた取組み

2023年11月

MS&AD

MS&ADインシュアランスグループ

# 保険引受先・投融資先に係る 温室効果ガス(GHG)排出量削減の中間目標

## 中間目標

## 2022年度 実績

### 今回新たに設定した目標

国内主要取引先の  
GHG排出量※<sup>1</sup>削減率

**削減  
目標**

2030年度までに  
2019年度比 37%※<sup>2</sup>削減します

**行動  
目標**

お客さまとの対話を通じて、GHG排出量  
削減における課題を共有します  
課題解決に資するソリューションを提案し、  
お客さまとともに削減に向けて取り組みます

[参考]

- 国内投融資先のGHG排出量  
(スコープ1・2)※<sup>3</sup>  
[株式] 2,124[社債] 1,589  
[企業融資] 247 (千t-CO<sub>2</sub>e)
- 投融資先との対話 361社  
(2022年7月～2023年6月)

社会の脱炭素化、循環型経済  
に資する商品の保険料増収率

2025年度 年平均18%

17.9%

自社が排出するGHGの削減率  
(スコープ1+2)

2030年度 2019年度比 ▲50%

▲26.8%

自社が排出するGHGの削減率  
(スコープ3)

2030年度 2019年度比 ▲50%  
対象カテゴリ：1, 3, 5, 6, 7, 13

▲26.9%

再生可能エネルギー導入率

2030年度 60%

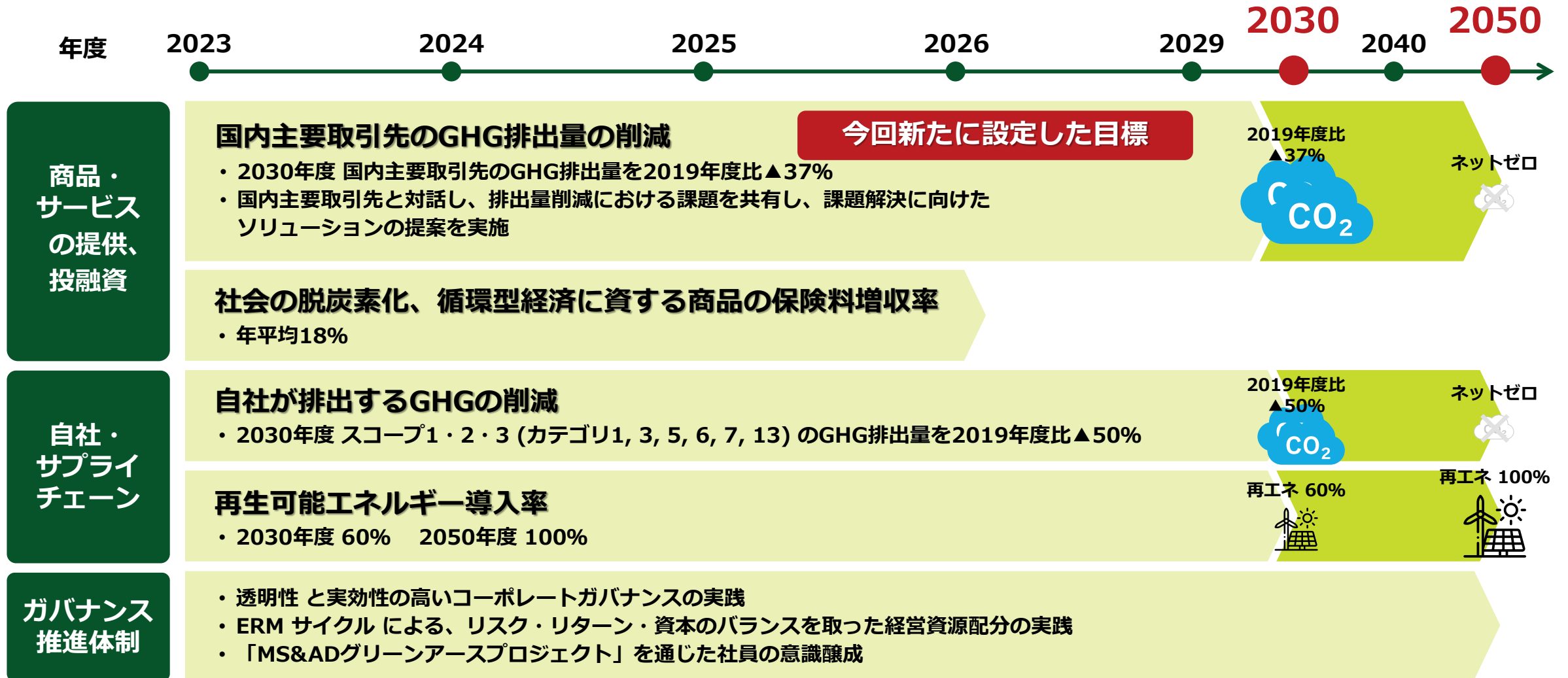
21.1%

(注) スコープ、カテゴリの詳細は  
環境省のWebサイトを参照ください。  
[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/  
supply\\_chain/gvc/estimate.html](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/estimate.html)

※1 収入保険料を基に選定した国内主要取引先(約3,300社)のGHG排出量(当社の保険引受及び投融資に係るもの)  
※2 日本のNDC(国が決定する貢献)における2030年度GHG総排出量目標と2019年度同総排出量確報値から算出  
※3 2021年度末投融資残高をもとに2022年度に算出

# ロードマップ

「2050年ネットゼロ」の実現に向けて、目標・指標を定めています。  
取引先と対話を重ね、パートナーシップ等を通じて社会全体のGHG排出量削減に取り組みます。



# 目標の設定について

MS&ADインシュアランスグループは、経営理念（ミッション）の実現に向けて、お客さまが安心して生活や事業活動を行うことのできる環境づくりをサポートするため、ステークホルダーと当社の双方にとって重要な社会課題（重点課題）の解決に取り組んでいます。

## 経営理念 (ミッション)

グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます。

## 重点課題

「地球環境との共生 ~Planetary Health~」  
「安心・安全な社会 ~Resilience~」  
「多様な人々の幸福 ~Well-being~」

「地球環境との共生」は「安心・安全な社会」や「多様な人々の幸福」を支える礎です。ネットゼロへの移行を進め、健やかな地球環境を維持するため、**保険引受先・投融資先に係るGHG排出量削減について2030年度までの中間目標**を設定しました。

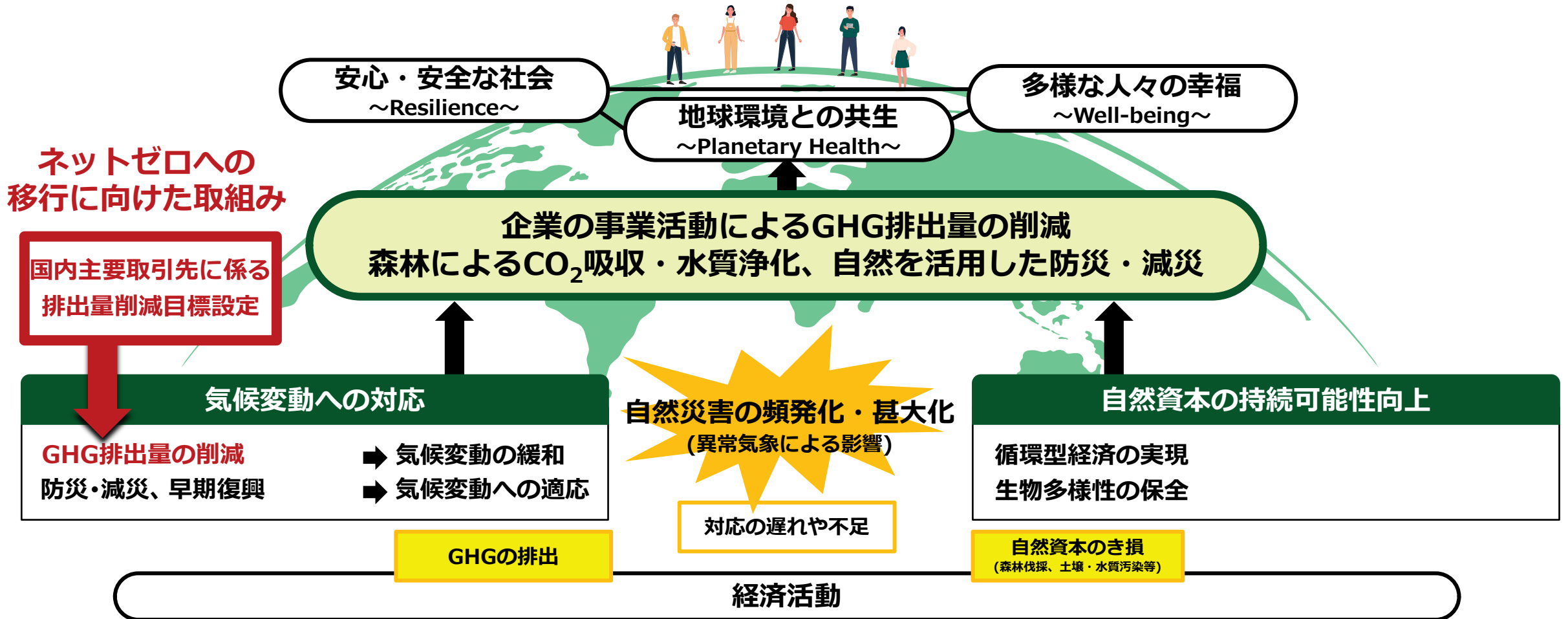
お客さまとの対話を通じて、GHG排出量削減における課題を共有し、課題解決に向けて、ともに取り組みます。



# 取組みの全体像

気候変動や自然資本のき損は、甚大な自然災害を頻繁に引き起こします。

MS&ADインシュアランスグループは、気候変動への対応及び自然資本の持続可能性向上に取り組み、自然災害による被害の低減や、災害からの早期復興の実現を進めます。「安心・安全な社会～Resilience～」と、「多様な人々の幸福～Well-being～」を支える「地球環境との共生～Planetary Health～」をめざしています。

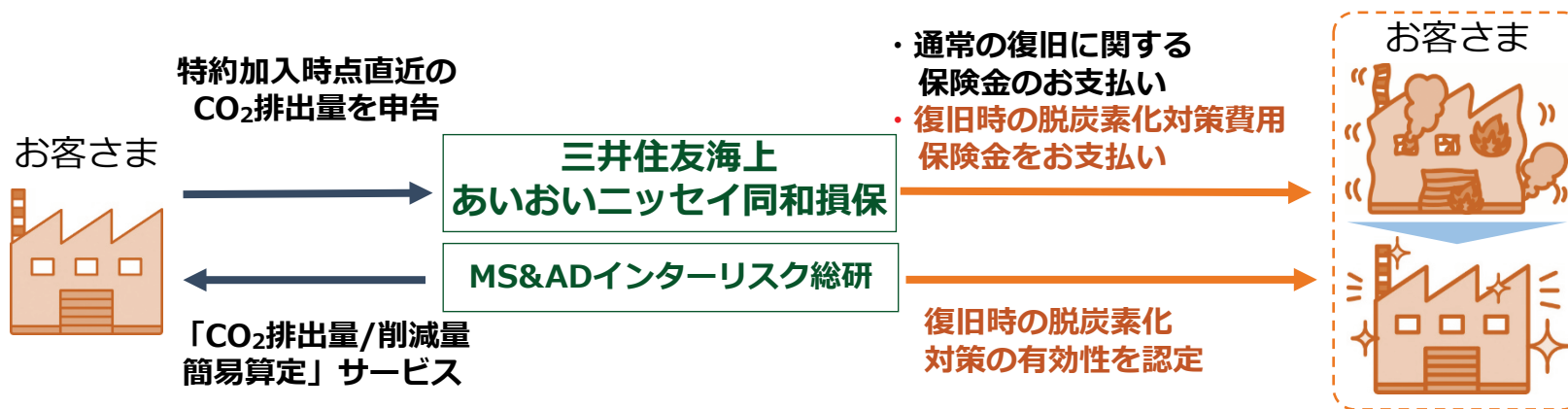


# 事例①

## 【企業向け火災保険】カーボンニュートラルサポート特約

- お客さまの設備が火災・爆発等により損害を受けた場合、火災保険でお支払いする原状復帰に要した費用に加えて、設備等を新たに脱炭素化するために要した追加費用も補償する特約です。

[https://www.ms-ins.com/news/fy2021/pdf/0823\\_1.pdf](https://www.ms-ins.com/news/fy2021/pdf/0823_1.pdf)



## 【SME向け企業賠償責任保険】

- お客さまが「カーボンオフセット」費用を請求された場合の補償です。
- 取引先の省エネ施設等を破損し、想定していたGHG削減効果を得られず、カーボンクレジット購入費用を請求された場合に、負担した金額について補償します。



## 自社のGHG排出量の削減

- 省エネ設備の導入、太陽光発電設備の設置、社有車の低燃費車両への入替え、グリーン購入を推進しています。

## ペーパーレス手続きの推進

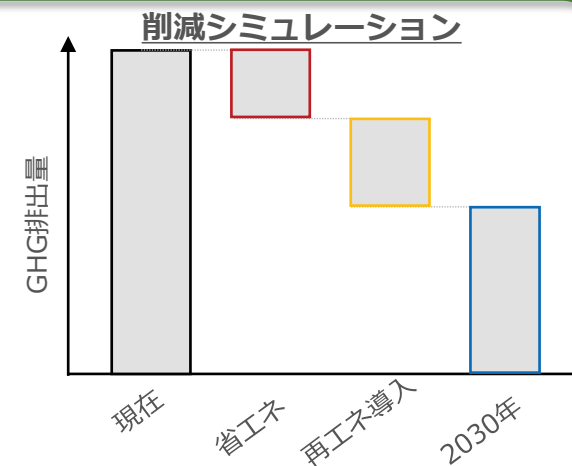
- 保険証券や約款の電子化、デジタル化により、お客さまの利便性向上とペーパーレス取組を推進しています。



## GHG算定・削減計画策定支援等(カーボンニュートラルサポート)

- お客さまの脱炭素化に資する取組みをワンストップでご提供するコンサルティングサービスです。セミナー、よろず相談、GHG排出量の算定と削減計画の策定支援、再エネ導入支援、省エネ導入支援やクレジット創出支援等を行います。

<https://www.irric.co.jp/topics/press/2021/0906.php>



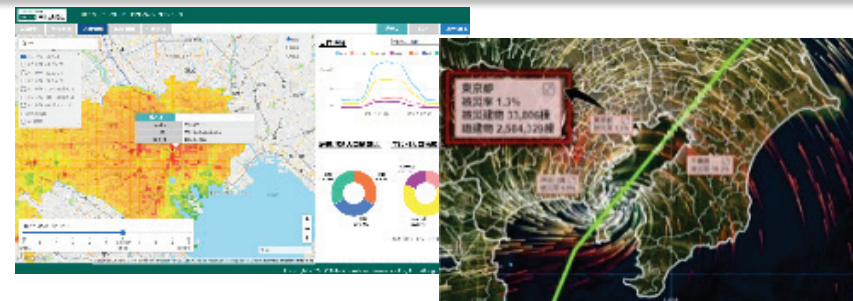
## 事例②

### 防災ダッシュボード・リアルタイム被害予測「cmap(シーマップ)」

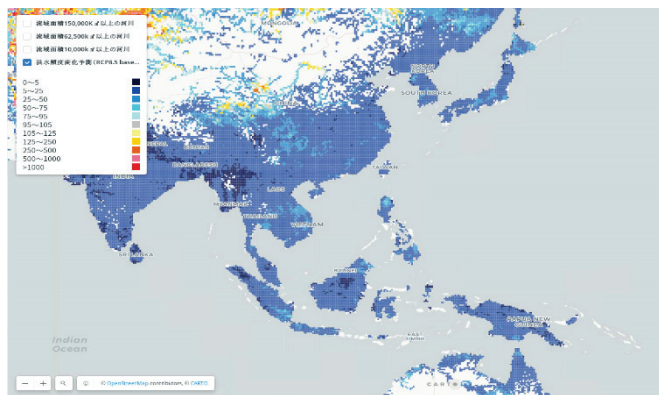
- 災害リスクや被害予測をリアルタイムで可視化することにより防災・減災アクションを支援します。

(防災ダッシュボード) <https://www.ms-ins.com/business/bosai-dash/>

(cmap) <https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/service/cmap/>



### 洪水頻度変化予測マップ LaRC-Flood®



- 気候変動による洪水頻度の変化をグローバルに見ることができるプラットフォームです。
- MS&ADホールディングスとインターリスク総研が東京大学、芝浦工業大学と連携して、2018年5月にリリースしました。利用登録するだけで無料で閲覧できるマップです。

[https://www.irric.co.jp/risksolution/sustainability/pdf/ediction\\_map/index.php](https://www.irric.co.jp/risksolution/sustainability/pdf/ediction_map/index.php)

### FANPS (Finance Alliance for Nature Positive Solution)

- 2023年2月に発足した、SMBCグループなど金融機関4社によるアライアンスです。
- 企業が求められるネイチャーポジティブの取組みに対して、ソリューションの調査や金融商品の開発に取り組んでいます。 <https://www.fanps.jp/>



### AIドローンの活用による水災査定



- AIによる流体シミュレーションによる浸水高を算定し、水災発生時に迅速に保険金をお支払いします。

[https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2021/new\\_s\\_2021060300860.pdf](https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2021/new_s_2021060300860.pdf)

### MS&ADグリーンアースプロジェクト

- 自然環境の保全・再生や環境負荷低減、防災・減災、地方創生を目的に、グループ社員が各地に赴いて活動しています。
- 熊本県球磨川の水害軽減プロジェクトや宮城県南三陸町の海の藻場再生（ブルーカーボン）を進めています。



[https://www.ms-ad-hd.com/ja/csr/green-earth\\_project.html](https://www.ms-ad-hd.com/ja/csr/green-earth_project.html)

**MS&AD**

**MS&AD Insurance Group**